

沖縄地方の天候

2020年5月と春（3月～5月）

令和2年6月1日 沖縄气象台

【 5月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）	9
生物季節観測表	10

【 春 】

春の天候	11
春の大気の流れ	12
沖縄地方の春（3月～5月）	
の平均気温と降水量の経年変化	13

※本報告は6月1日時点の資料で作成したものです。

本件担当：沖縄气象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【5月】

沖縄地方は、梅雨前線や熱帯低気圧、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

平均気温は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年差は+1.0℃とかなり高かった。降水量は、与那国島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は193%とかなり多かった。月降水量は南大東島で566.5mmを観測するなど複数の地点で月降水量の多い方からの5月としての極値を更新した。日照時間は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は80%と少なかった。

なお、沖縄地方は5月11日ごろに梅雨入りしたとみられる(※)。平年より2日遅く、昨年より5日早い梅雨入りとなった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.8	+0.8	+	545.0	235	++	106.0	73	-
名 護	24.1	+0.6	+	373.5	168	+	93.4	67	--
久 米 島	24.9	+0.9	++	582.0	220	++	113.0	79	-
南大東島	24.1	+0.2	0	566.5	282	++	107.5	60	--
宮 古 島	26.1	+1.3	++	413.0	199	+	120.1	79	-
石 垣 島	26.7	+1.0	++	497.0	241	++	136.1	84	-
西 表 島	26.3	+1.1	++	373.5	205	++	134.9	79	-
与那国島	26.1	+0.8	+	148.0	71	-	119.9	86	-
沖縄地方		+1.0	++		193	++		80	-

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

(※)速報値。気象予測をもとに行う梅雨入りの速報とは別に、梅雨の季節が過ぎてから、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行う。そこで検討した梅雨入りの確定値は、9月以降に気象庁ホームページや「2020年の沖縄地方の天候」(2021年1月発表)等において公表する。

天 候 経 過 (旬別)

【5月上旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、2日と3日は沖縄本島地方で、6日は沖縄本島地方と大東島地方で大雨となった所があった。

沖縄地方の降水量はかなり多く、2日は渡嘉敷で198.5mmの日降水量を、6日は安次嶺で78.5mm、糸数で93.0mmの日最大1時間降水量を観測し、それぞれ5月としての極値を更新した。沖縄地方の平均気温は高く、日照時間は平年並だった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.5	+1.0	+	310.5	487	++	36.4	78	0
名 護	24.0	+1.1	+	109.0	184	+	36.0	79	0
久 米 島	24.8	+1.4	+	319.0	557	++	39.4	85	0
南大東島	23.6	+0.2	0	90.5	227	+	40.1	64	-
宮 古 島	26.0	+1.8	++	17.0	27	0	52.1	109	+
石 垣 島	26.2	+1.0	+	10.5	23	0	67.9	131	+
西 表 島	26.2	+1.5	++	9.0	18	-	62.3	114	+
与那国島	25.9	+1.2	+	8.0	16	-	47.0	107	0
沖縄地方		+1.3	+		222	++		102	0

【5月中旬】

沖縄地方は梅雨前線や熱帯低気圧、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、12日は沖縄本島地方と八重山地方で、18日は沖縄本島地方と宮古島地方で大雨となった所があり、19日は先島諸島で大雨や荒れた天気となった所があった。

12日は石垣島で日最大1時間降水量126.0mmを観測し、通年の極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。

なお、沖縄地方は5月11日ごろに梅雨入りしたとみられ、平年より2日遅く、昨年より5日早い梅雨入りとなった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	25.0	+0.9	+	134.0	204	+	34.7	68	-
名 護	24.2	+0.6	0	164.0	263	++	31.4	65	-
久 米 島	25.1	+1.0	+	165.5	218	++	41.8	84	0
南大東島	24.5	+0.5	0	90.5	168	+	38.5	63	-
宮 古 島	26.1	+1.2	+	141.0	236	+	28.7	56	-
石 垣 島	26.6	+0.8	+	321.0	427	++	31.8	57	-
西 表 島	26.2	+0.9	+	138.0	245	++	28.6	49	-
与那国島	25.9	+0.5	+	57.5	68	0	33.4	70	-
沖縄地方		+0.9	+		231	++		67	-

【5月下旬】

沖縄地方は、梅雨前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、21日から23日、31日は沖縄地方の各地で大雨となった所があった。22日は、下地島では日降水量135.5mm、鏡原では111.5mmを観測し、いずれも日降水量の5月としての極値を更新した。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.8	+0.3	+	100.5	98	0	34.9	72	-
名 護	24.1	+0.2	0	100.5	100	0	26.0	57	-
久 米 島	24.8	+0.4	+	97.5	74	0	31.8	68	-
南大東島	24.3	0.0	0	385.5	361	++	28.9	53	-
宮 古 島	26.1	+0.8	+	255.0	301	++	39.3	76	-
石 垣 島	27.2	+1.1	+	165.5	193	+	36.4	66	-
西 表 島	26.6	+0.9	++	226.5	304	++	44.0	77	-
与那国島	26.4	+0.7	+	82.5	113	0	39.5	81	-
沖縄地方		+0.7	+		156	+		73	-

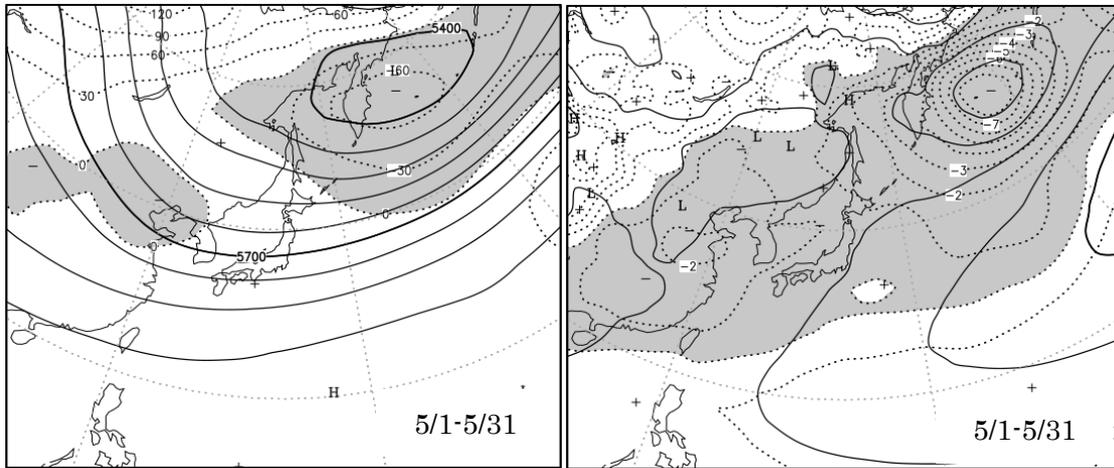
表の(注)は、前頁と同様

大気の流れ

2020年5月

500hPa面の平均高度（左図）は、華北やカムチャツカ半島付近で平年より低く、本州から日本の南海上では高かった。

平均海面気圧（右図）は、大陸から日本付近、カムチャツカ半島付近にかけて前線や低気圧の通過の影響で低かった。一方、日本の南海上では太平洋高気圧が平年より強かったため、太平洋高気圧の縁に沿って暖かく湿った空気が沖縄地方に流れ込みやすかった。

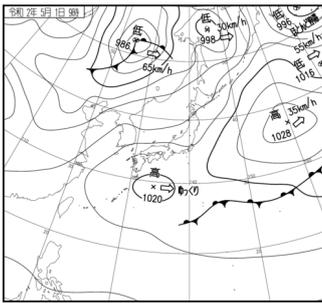


左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

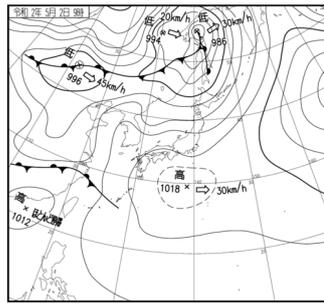
右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

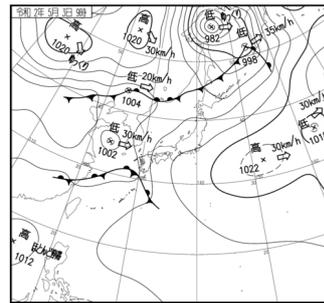
2020年5月1日～5月16日



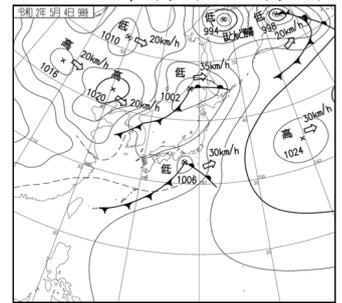
2020年5月1日
湿った空の影響を受ける。



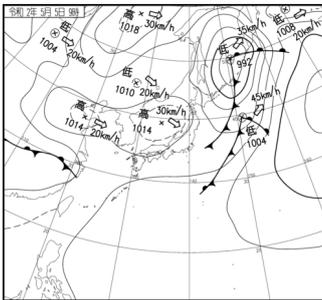
5月2日
前線や湿った空の影響を受ける。



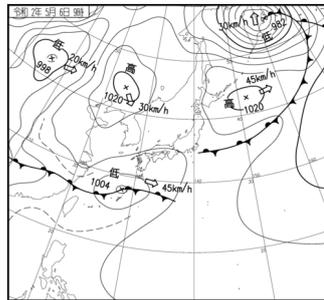
5月3日
沖縄本島地方と大東島地方、宮古島地方は前線や湿った空の影響を受ける。八重山地方は高気圧に覆われる。



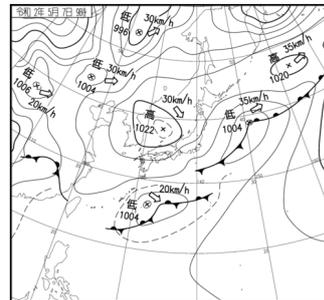
5月4日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は前線の影響を受ける。



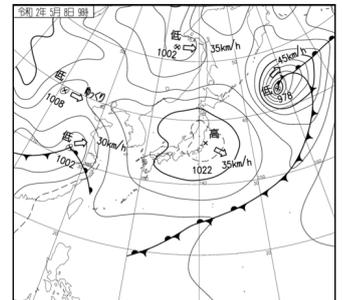
5月5日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は湿った空の影響を受ける。



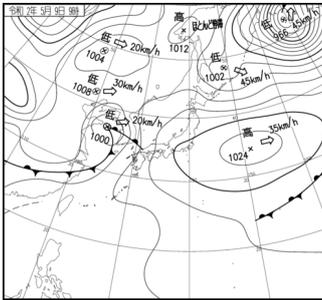
5月6日
前線や低気圧の影響を受ける。



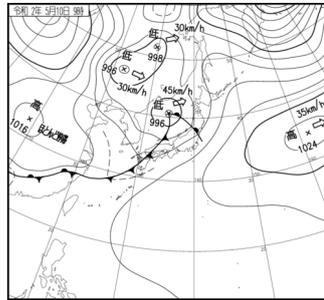
5月7日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方は低気圧、先島諸島は気圧の谷の影響を受ける。



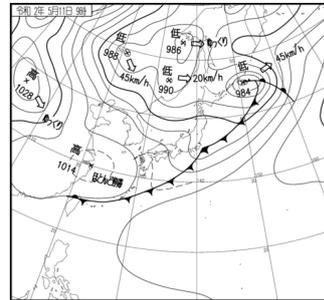
5月8日
沖縄本島地方と大東島地方、宮古島地方は湿った空の影響を受ける。八重山地方は高気圧に覆われる。



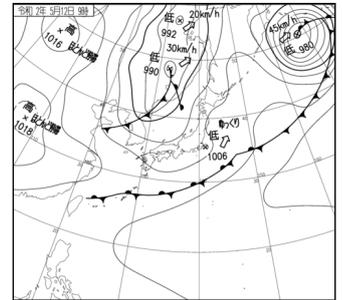
5月9日
沖縄本島地方は湿った空の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



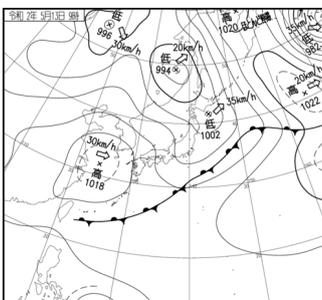
5月10日
高気圧に覆われる。



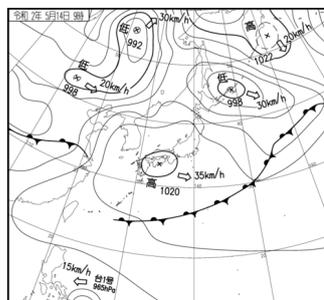
5月11日
梅雨前線の影響を受ける。



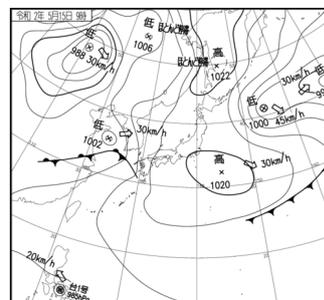
5月12日
梅雨前線の影響を受ける。



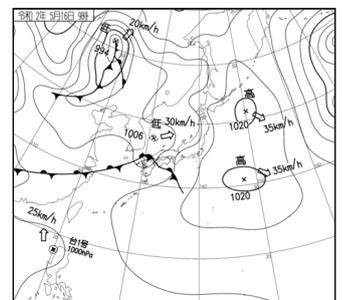
5月13日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。



5月14日
沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は湿った空の影響を受ける。



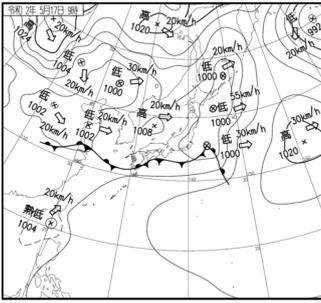
5月15日
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は湿った空の影響を受ける。



5月16日
沖縄本島地方と先島諸島は湿った空の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

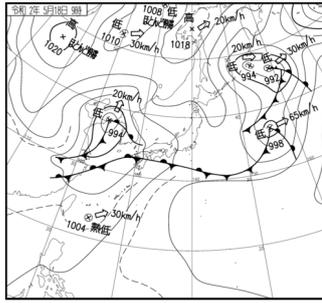
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2020年5月17日～5月31日



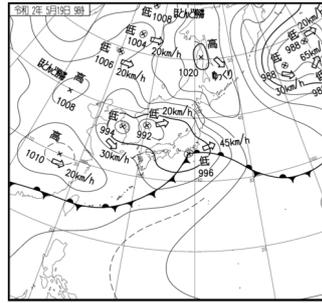
5月17日

熱帯低気圧や湿った空気の影響を受ける。



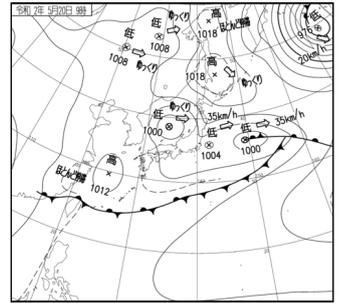
5月18日

熱帯低気圧の影響を受ける。



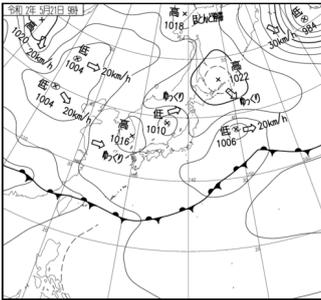
5月19日

梅雨前線の影響を受ける。



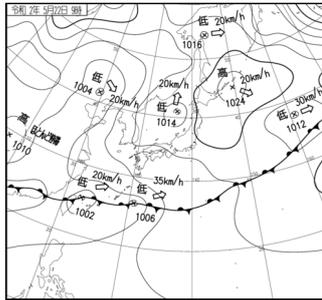
5月20日

沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と先島諸島は梅雨前線の影響を受ける。



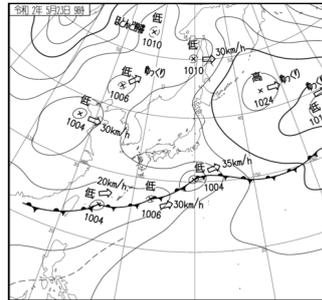
5月21日

梅雨前線の影響を受ける。



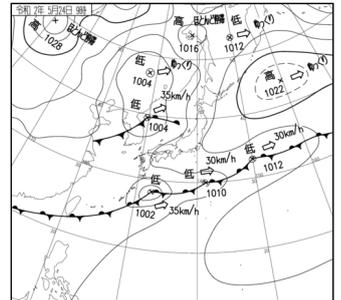
5月22日

梅雨前線や低気圧の影響を受ける。



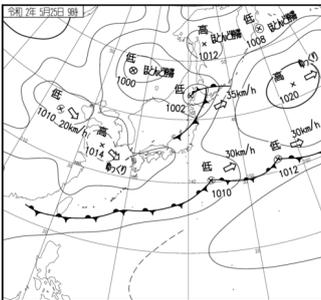
5月23日

梅雨前線や低気圧の影響を受ける。



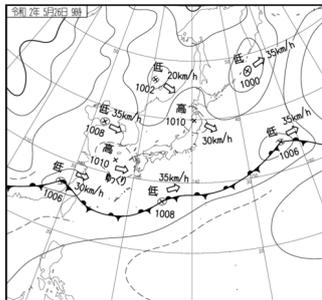
5月24日

梅雨前線の影響を受ける。



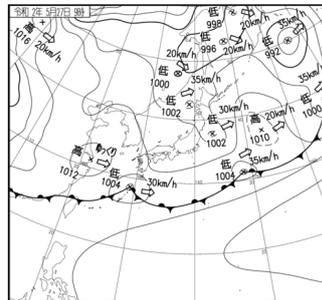
5月25日

梅雨前線の影響を受ける。



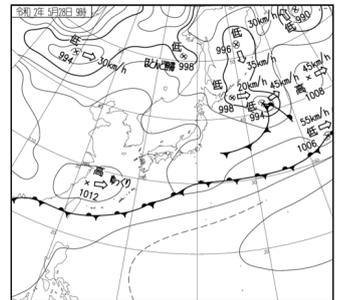
5月26日

沖縄本島地方と先島諸島は梅雨前線の活動が弱まる。大東島地方は梅雨前線の影響を受ける。



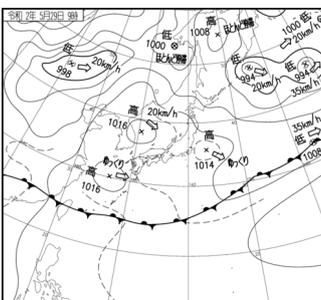
5月27日

梅雨前線の影響を受ける。



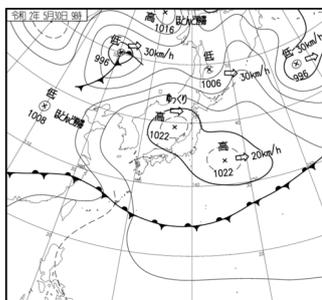
5月28日

梅雨前線の影響を受ける。



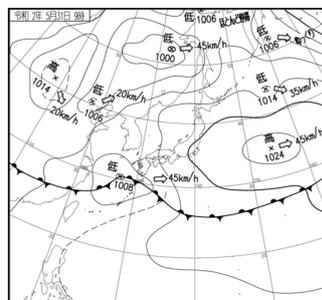
5月29日

梅雨前線の影響を受ける。



5月30日

梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。

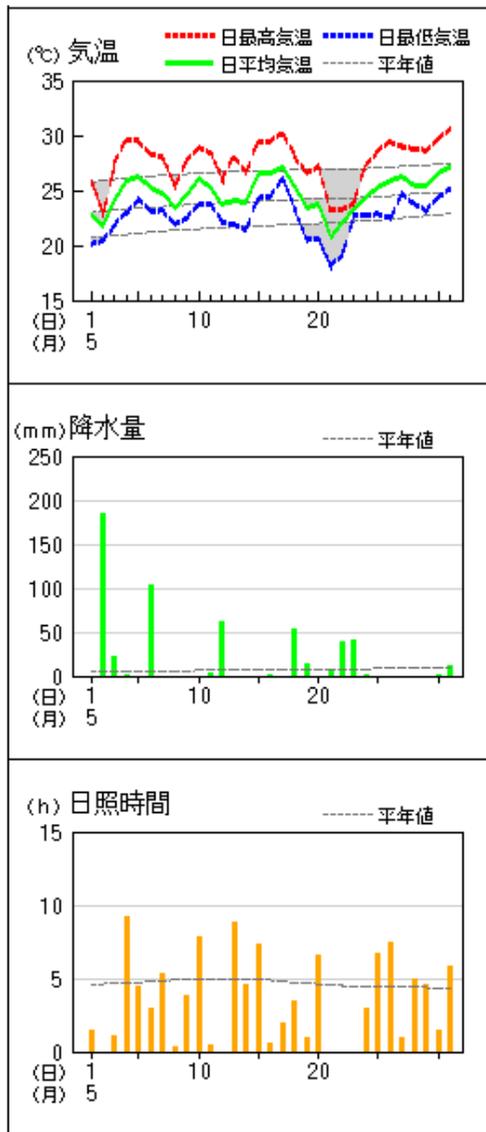


5月31日

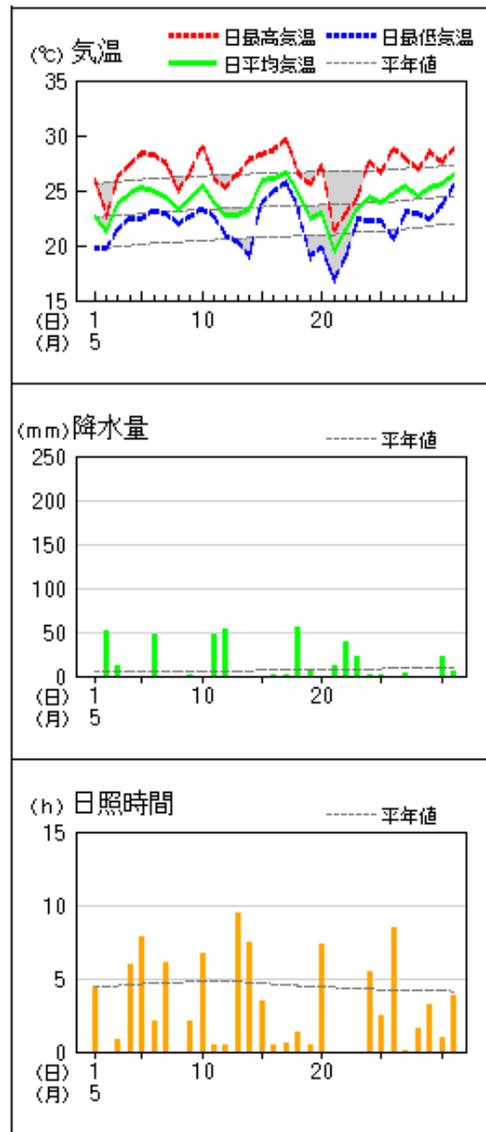
梅雨前線や湿った空気の影響を受ける。

地上気象 気象経過図：2020年05月01日-2020年05月31日

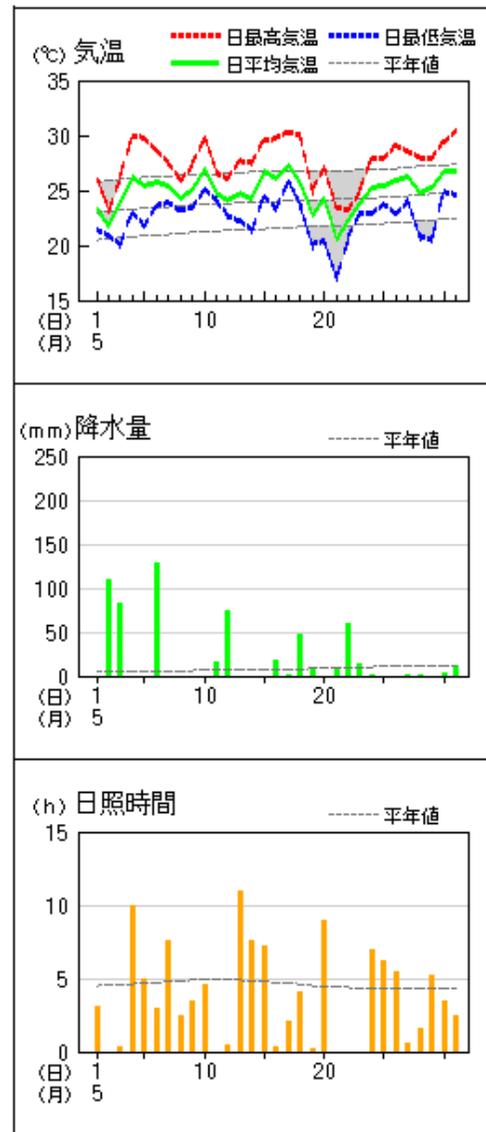
那覇



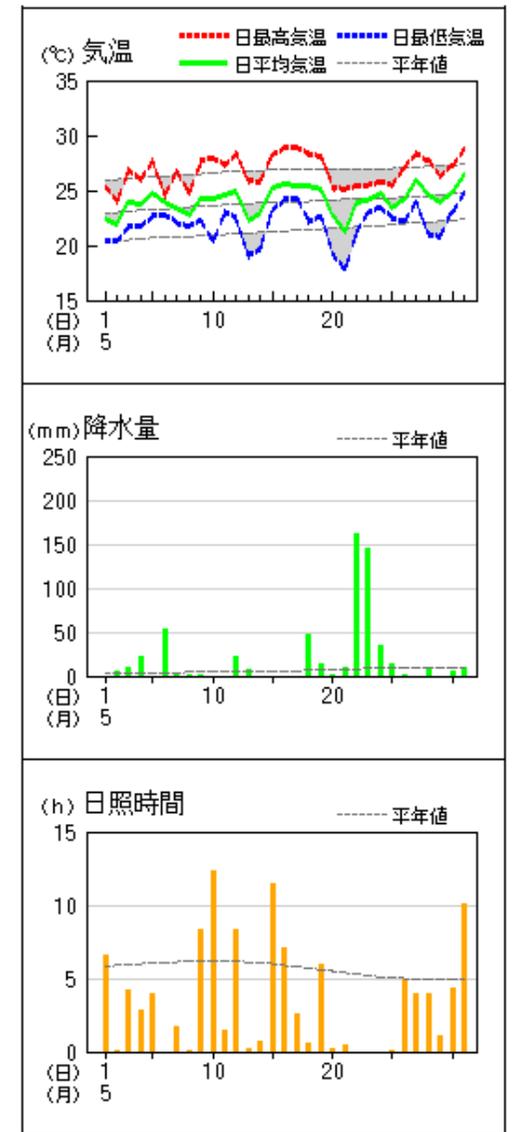
名護



久米島

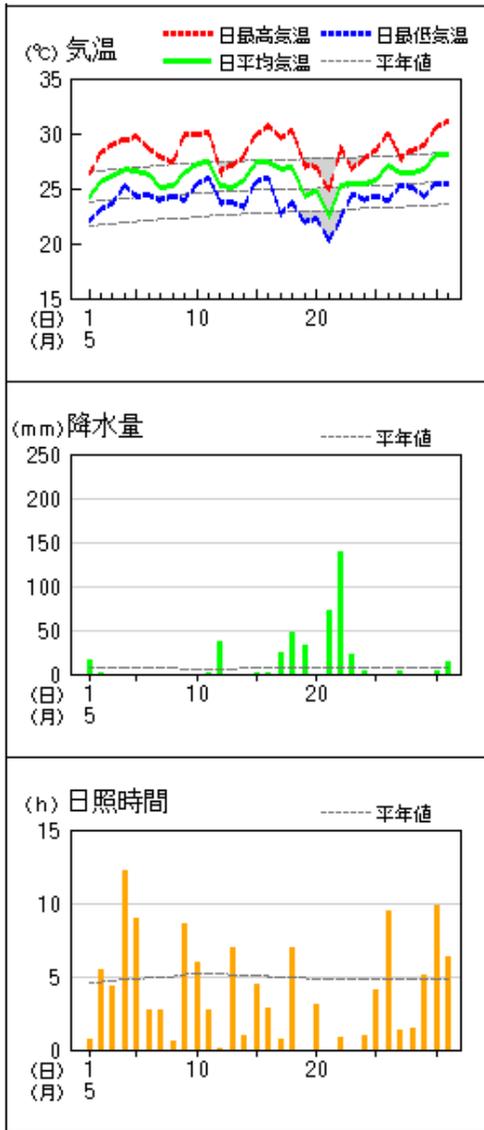


南大東（南大東島）

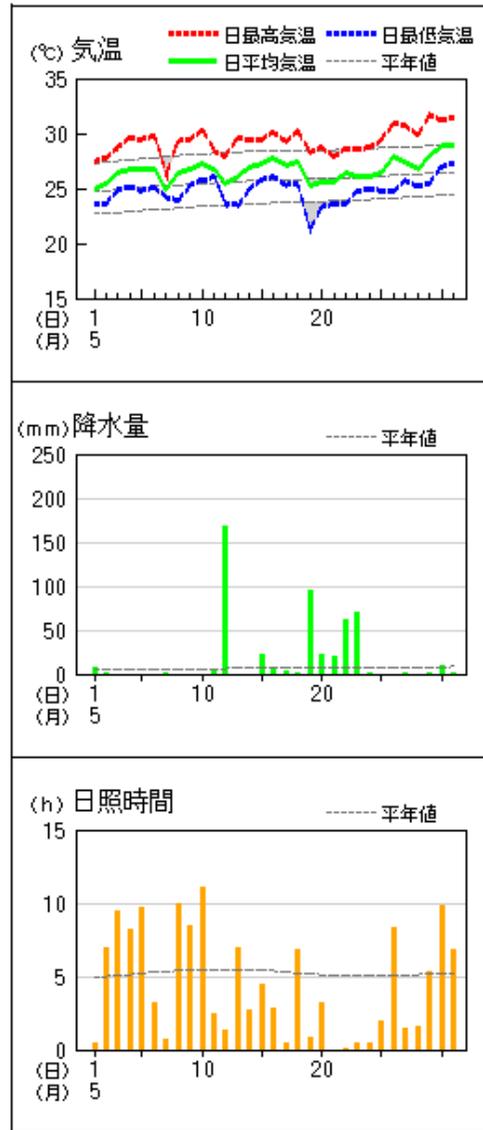


地上気象 気象経過図：2020年05月01日-2020年05月31日

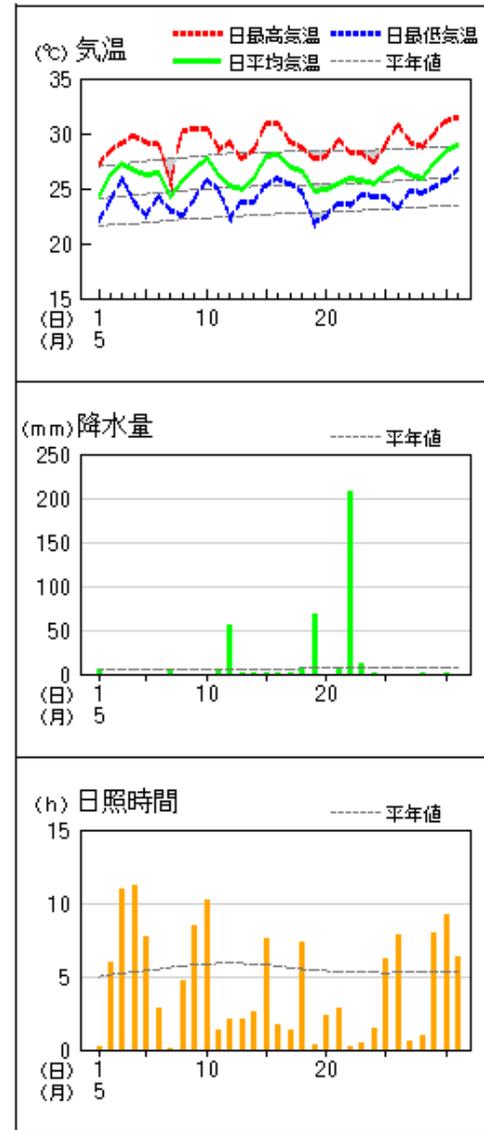
宮古島



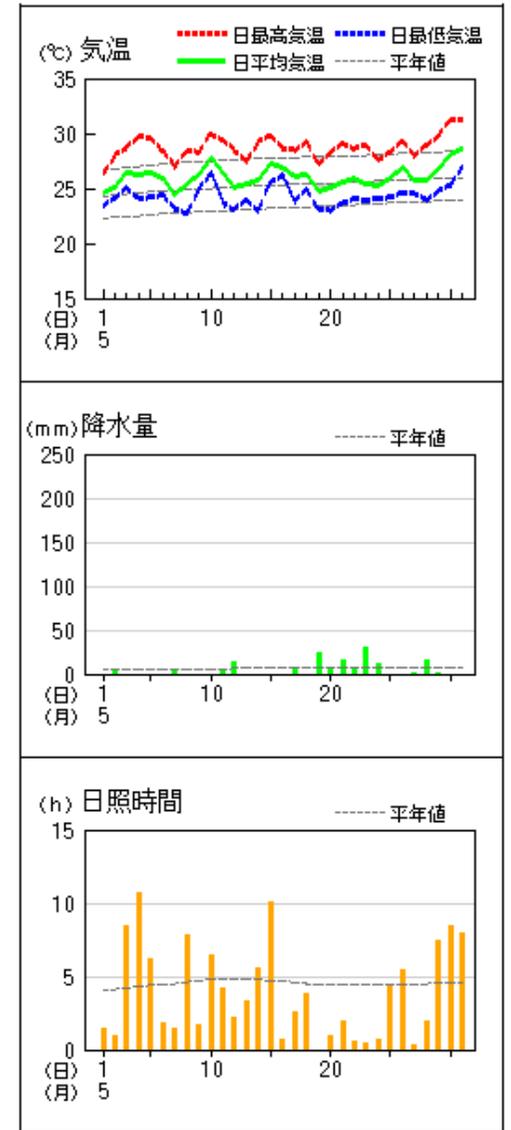
石垣島



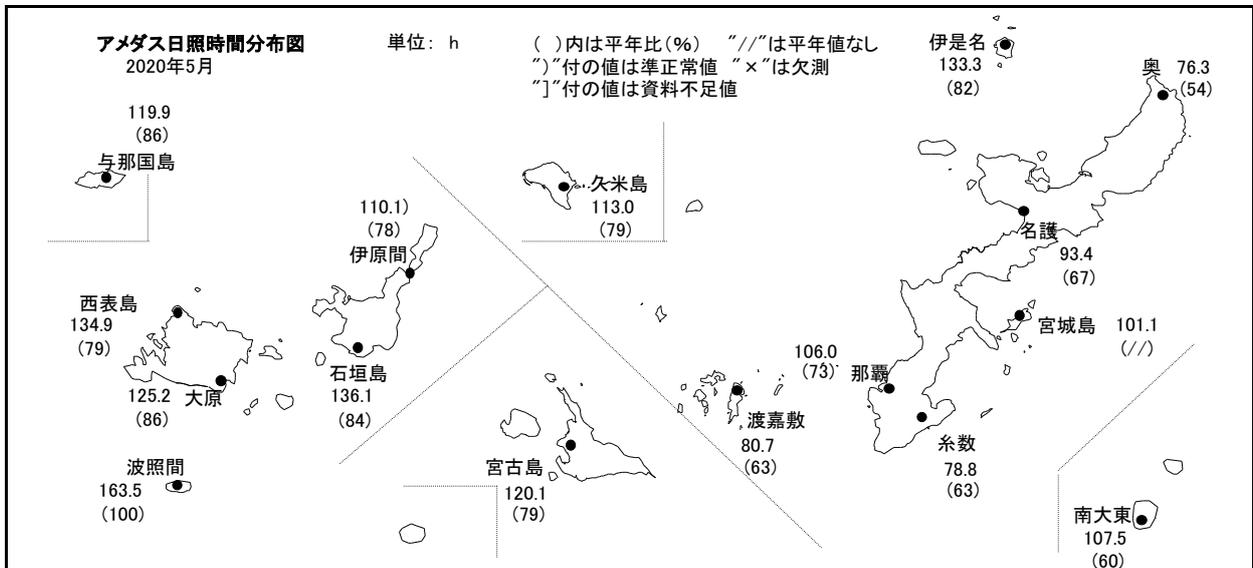
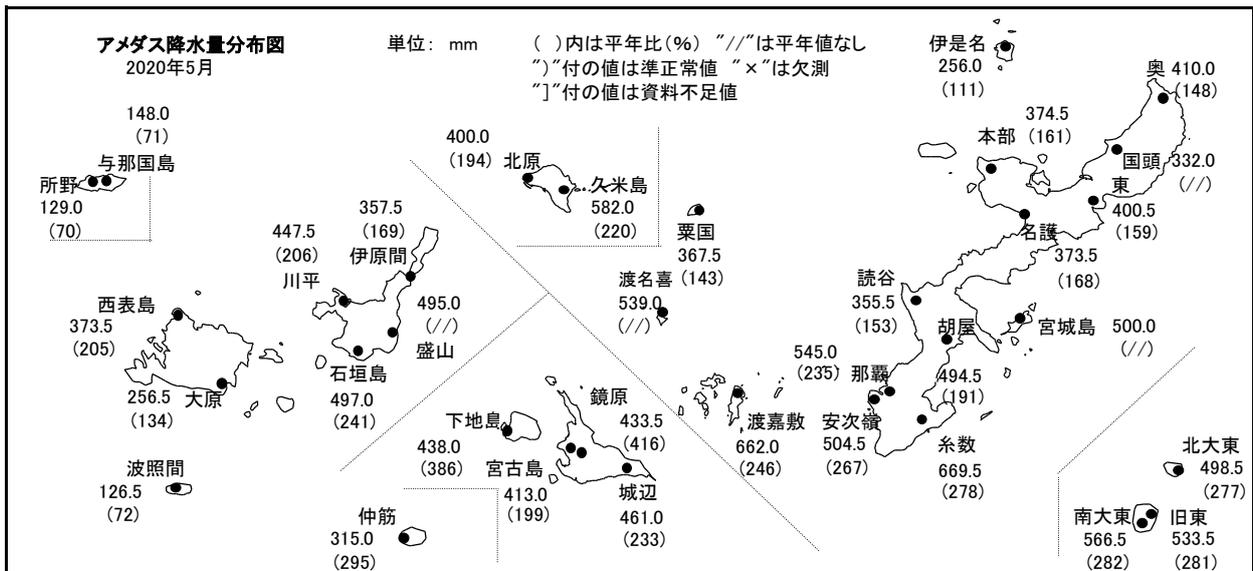
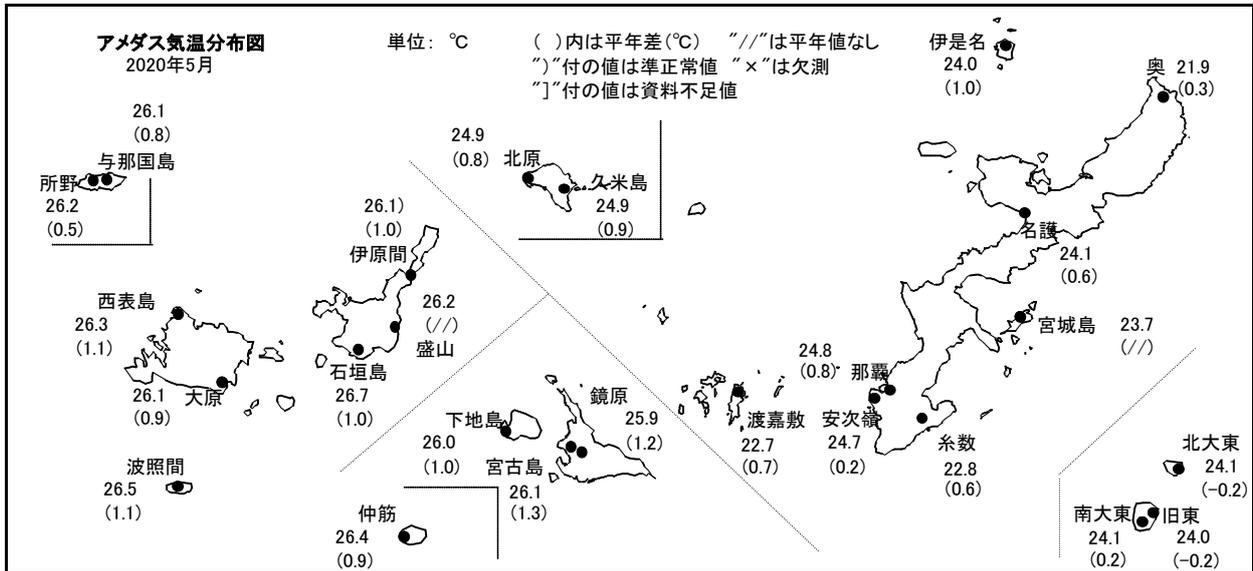
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



・ 統計期間が短いため、平年値がない地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2020年5月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
石垣島	日最大1時間降水量（mm）	126.0	2020年5月12日	1	122.0	1989年5月19日
南大東島	月降水量の多い方から（mm）	566.5	2020年5月	1	518.9	1947年5月
西表島	月最大24時間降水量（mm）	211.5	2020年5月22日	2	213.5	2011年5月28日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
渡嘉敷	日降水量（mm）	198.5	2020年5月2日	1	176.5	2015年5月24日
下地島	日降水量（mm）	135.5	2020年5月22日	1	103.0	2015年5月24日
鏡原	日降水量（mm）	111.5	2020年5月22日	1	97.0	2014年5月23日
安次嶺	日最大1時間降水量（mm）	78.5	2020年5月6日	1	58.0*	2011年5月16日
糸数	日最大1時間降水量（mm）	93.0	2020年5月6日	1	59	1990年5月10日
渡嘉敷	日最大10分間降水量（mm）	25.5	2020年5月6日	1	24.5	2012年5月2日
旧東	日最大10分間降水量（mm）	18.0	2020年5月18日	1	16.5	2010年5月29日
北大東	日最大瞬間風速・風向（m/s）	南西 22.6	2020年5月23日	1	南南西 21.1*	2015年5月23日
渡嘉敷	月降水量の多い方から（mm）	662.0	2020年5月	1	656.5	2010年5月
糸数	月降水量の多い方から（mm）	669.5	2020年5月	1	586.0	2010年5月
北大東	月降水量の多い方から（mm）	498.5	2020年5月	1	350.5	2015年5月
旧東	月降水量の多い方から（mm）	533.5	2020年5月	1	339.0	2015年5月
宮城島	月間日照時間の少ない方から（時間）	101.1	2020年5月	1	101.9	2013年5月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2020年5月

観測場所	種別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
(1) 植物								
南大東島	テッポウユリ	開花	5月14日	4月26日	5月13日	+18	4月4日	5月17日
(2) 動物								
那覇	クサゼミ (イワサキクサゼミ)	初鳴	5月5日	4月27日	5月5日	+8	4月15日	5月27日
那覇	シオカラトンボ (オオシオカラトンボ)	初見	5月8日	5月17日	4月23日	-9	4月13日	8月13日
宮古島	クマゼミ	初鳴	5月31日	5月26日	5月21日	+5	4月25日	6月19日

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

春の天候

2020年3月～5月

天候経過

前線や低気圧、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多かった。
 平均気温の地域平均平年差は+0.2℃で平年並だった。降水量は全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り地域平均平年比は+138%と多かった。日照時間は全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を下回り地域平均平年比は91%と少なかった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2020年3月～5月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	21.6	+0.1	0	815.5	146	+	347.3	92	0
名護	20.9	-0.1	0	569.5	104	0	338.0	93	0
久米島	21.6	+0.2	+	934.0	141	++	334.7	92	-
南大東島	21.8	+0.2	0	690.0	167	++	421.5	87	-
宮古島	22.8	+0.4	+	658.0	130	+	353.0	91	-
石垣島	23.5	+0.2	0	724.5	147	+	359.4	90	-
西表島	23.1	+0.5	++	631.0	125	+	340.8	88	-
与那国島	23.0	+0.1	0	665.5	125	+	292.5	91	-
沖縄地方		+0.2	0		138	+		91	-

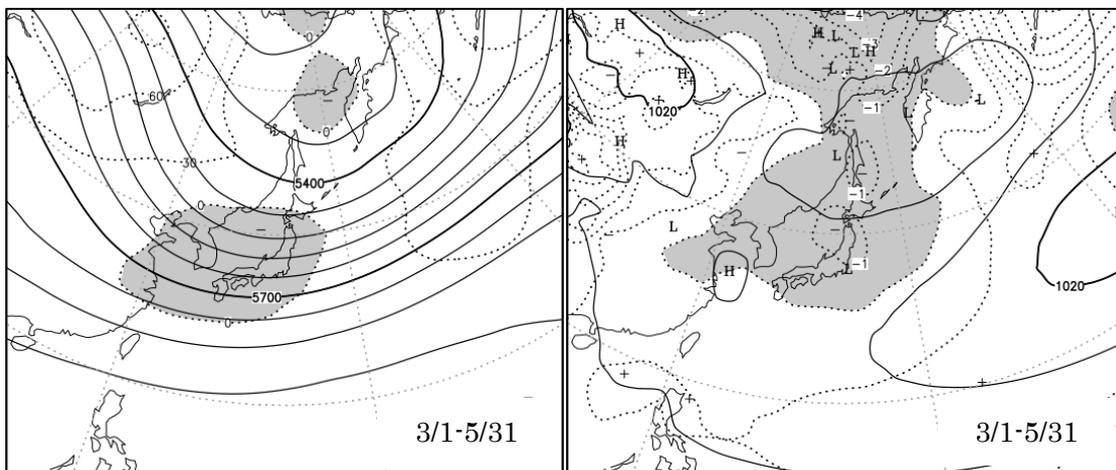
- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

春の大気の流れ

2020年3月～2020年5月

500hPa面の平均高度（左図）は、黄海から本州付近は平年より低く、日本付近は気圧の谷となった。

平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より低く、日本の南は相対的に気圧が高かった。沖縄地方は南からの湿った空気の影響を受けやすかった。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2020年春（3月～5月）の平均気温の地域平均平年差は+0.20℃であった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年あたり1.20℃の割合で上昇している（図1）。

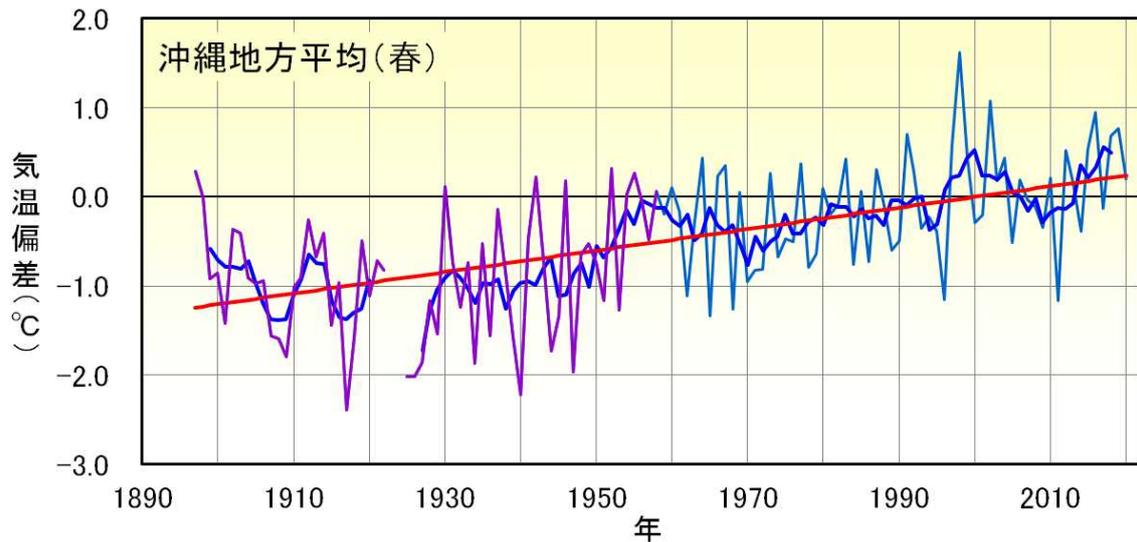


図1 沖縄地方の春（3月～5月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化

[1897～2020年の124年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差 [°C] を示す。

水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。

1923年、1924年は那覇観測値欠測。2018年は与那国島観測値欠測。

沖縄地方の2020年春(3月～5月)の降水量の地域平均平年差は+208.9mmであった。平均気温とは異なり、統計的に有意な長期変化傾向は見られない(図2)。

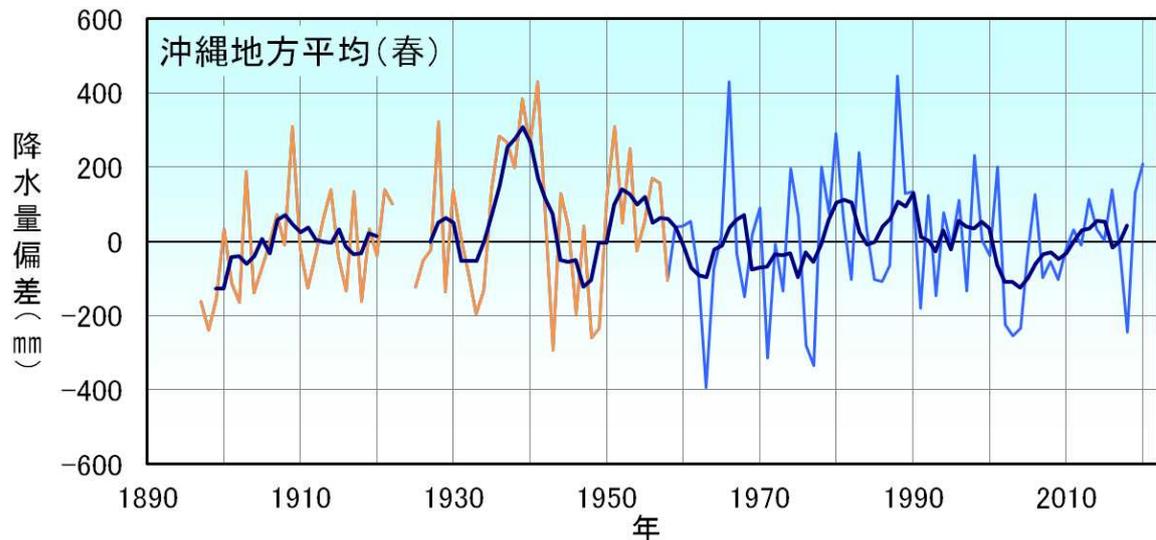


図2 沖縄地方の春(3月～5月)の降水量の地域平均平年差の経年変化
[1897年～2020年の124年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差[mm]を示す。
水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値。
1923年、1924年は那覇観測値欠測。2018年は与那国島観測値欠測。

【注】

この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点より算出している。また、上記5地点のうち2地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は1897年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第2位まで求めている。